

農業 I C T 研究会 活動のご紹介

主査：中村 憲司

(株式会社大和コンピューター 代表取締役社長)

副主査：村瀬 正典

(株式会社バーズ情報科学研究所 代表取締役社長)

1. データ分析が示す農業とITの未来～人口減少を乗り越える強い産業へ～ (29社/43名)

会期：6月26日（金）15:00～16:30 オンライン

講師：山口 真一 氏（国際大学グローバル・コミュニケーション・センター）

日本の農業は、「農業人口の減少」「新規就農の難しさ」「生産性が高くない」という3つの課題があり、これらの解決にはITが大きく貢献できることが指摘される一方で、農業におけるIT活用はあまり進んでいない。講演では、稲作従事者を対象としたアンケート調査データの定量分析結果から、ITがもたらす生産性インパクトを示したうえで、IT事業者と現場のニーズのギャップ、ITに関心のある農業従事者の特徴、新規就農促進に資するIT活用方法などを明らかにし、それらのエビデンスから、農業においてIT活用を促進し、農業を強い産業として発展させるための、5つの政策的・経営的含意を提示していただいた。

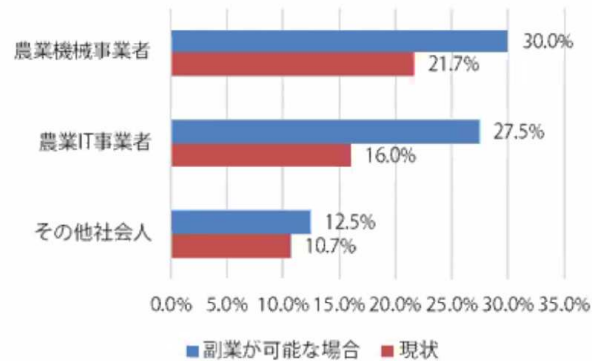
農業ICT研究会2020 活動報告

PowerPoint スライドショー - [20200626「データ分析が示す農業とITの未来：人口減少を乗り越える強い産業へ」v1.pptx] - PowerPoint

働き方改革と農業への人材供給

◆ 副業解禁で農業従事意欲高まる

- ▶ 「副業が可能な場合」に農業に従事したいと思う人の割合は高い。とりわけ「農業機械事業者」「農業IT事業者」では効果的。
- ▶ 副業解禁で、農業の**人手不足解消**の一助になると同時に、ニーズを知らながら**より現場にあった**機器・サービスの開発が可能になる。



農業に従事したい人の割合（副業が可能な場合別）

32

CSAJ

スライド 32/42



2. オランダスマート農業バーチャル視察 (30社/48名)

会期：12月8日(火) 15:00~17:00 オンライン

講師：水城 悠氏 (Greenbridge International)

私たちの最も身近な「食」を支える農業は、生産者の高齢化や労働力不足により、さまざまな問題を抱え、安心・安全な「国産」の供給が脅かされている。これら課題解決には、「スマート農業」実現による生産性向上が不可欠である。

スマート農業先進国として、日本より国土が小さいにもかかわらず、世界第2位を誇る農業輸出国である「オランダ」のスマート農業の実態と、オランダ人がもつサステイナビリティ、気質・風土なども交え、オランダ在住の日本人コーディネーターにオンラインで講演いただくとともに、現地のスマート農業の様子をVTRでバーチャル視察した。

目次

- 自己紹介
- サマリー（オランダ農業の強さの理由、注目の技術）
- オランダ農業概要と特徴
- 注目技術
- 最先端の農家事例（大規模なパプリカ農家）
- オランダ農業関連企業の紹介
- 世界一の農業大学「ワーヘニンゲン大学」の研究
- 新しい取組み、トレンド



講師 水城 悠 様

農業 I C T 研究会2020 活動報告



農業ICT研究会2020 活動報告

◆農業ICT研究会

➤第1回：6月26日（金）16:00～17:30

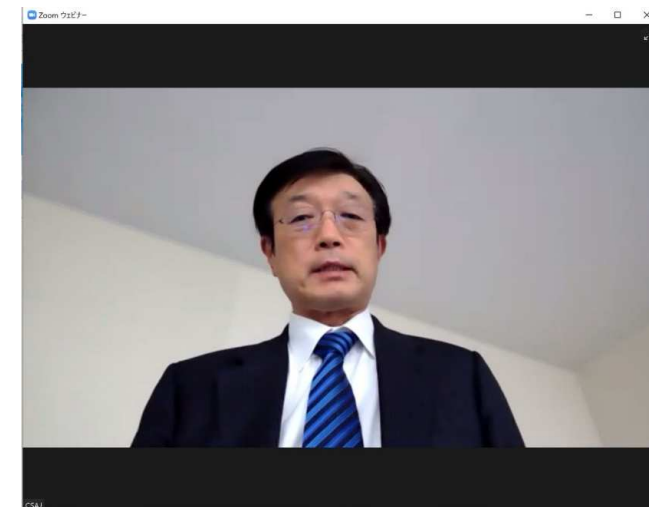
会 場：Online

内 容：2020年度の企画検討

➤第2回：12月8日（火）17:00～18:00

会 場：CSAJ会議室＋Online

内 容：2021年度の活動検討
(セミナー・視察等)



農業ICT研究会2021 活動計画

<2021年度活動目的>

今後、IoT (Internet of Things)の進展、AI(人工知能)、ロボット技術等の発展・展開が予想される中、農業におけるビジネスチャンスの可能性を探り、農業ICTによる地方創生、生産・流通・販売やライフワークバランスに関する可能性を調査・研究するとともに、これらに関わる政府・関係省庁、地方自治体等の政策・施策・条例の調査等を行うなど、多角的な視野で活動を行っていくことを目的とする。

- 現在の農業におけるICT利活用による事例から、その現状調査と課題を検討。
- 実地調査の為の視察。
- 専門家、実施企業・農家等との意見・情報交換、講演・セミナーの実施。
- 他関係委員会、研究会と連携し、可能性の検討

農業ICT研究会2021 活動計画・予定

<活動予定>

➤ セミナー

【テーマ】

- ・ 金融業の農業参入について
- ・ New Normalの働き方×農業をテーマにした企業事例
- ・ 農業法人の事例

(新規採用、就業、働き方 (学生・障害者など) の実態)

➤ 視察

【候補地】

- ・ 酒蔵 (酒造り×ICT活用) 候補：岩手・山口
- ・ スマート農業先進自治体 候補：高知
- ・ ワークেশョン 候補：和歌山

➤ **【SDGs×農業】なぜ今「農業」なのか？ ～異業種参入事例とその効果～**

日時：2021年5月25日（火）15:00～16:30

会場：オンライン（zoomウェビナー）

1. 株式会社三井住友銀行様
金融業の農業参入事例

2. 株式会社JTB様
JA×JTB連携事例～ニューノーマルな働き方～

※申込受付・詳細は後日公開予定

➤ **第1回研究会**

日時：2021年5月25日（火）16:40～17:40

会場：ハイブリッド（CSAJ+オンライン）

農業ICT研究会メンバー募集！

スマート農業、ワーケーション、兼業、メンタルヘルスケアなど…
農業の可能性はたくさんあります。

研究会では農業を通じた様々な可能性を調査・研究しています。

ご興味のある方は、メンバー登録をお願いします。

